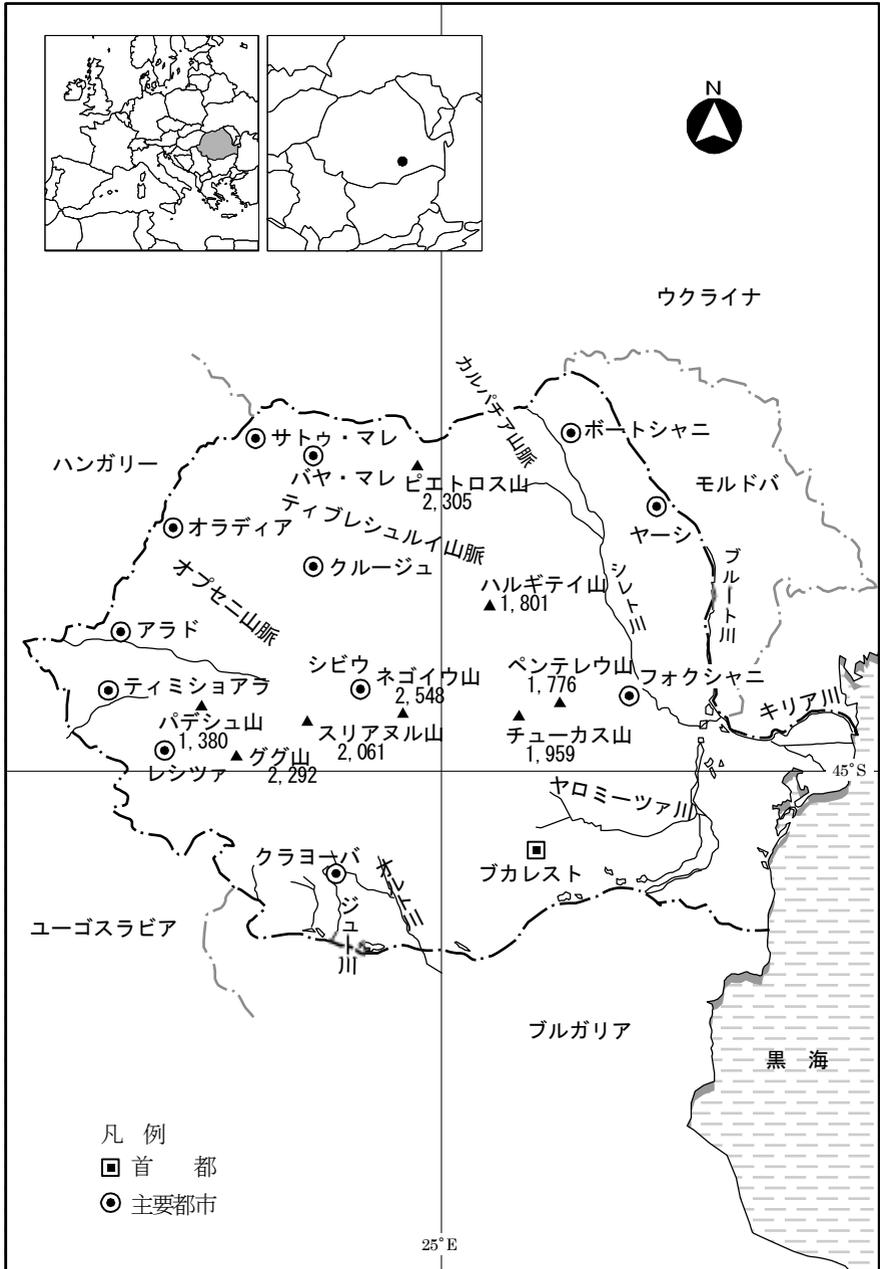


ルーマニア



(一般指標)

国名 (英名)	ルーマニア (ROM : Romania)
国土面積 万 ha	2,384 (本州本島よりやや大きい)
人口 万人	2,138.7 人口密度 89.7人/km ² (2012年)
首都名 (英名)	ブカレスト (Bucharest)
首都人口 万人	194.4 (2009年)
主要言語	ルーマニア語 (公用語) 91%、マジヤール語、ロマニ語
宗教	ルーマニア正教87%、プロテスタント6.5、カトリック5.6
国連加盟年月	1955年12月
通貨単位	ルーマニア・レイ 1米ドル=3.3322 (2013年7月)
国民総所得 : GNI 億米 ^{ドル}	1,682 (2010年)
一人当りGNI 米 ^{ドル}	7,850 (2010年)
主要産業	金属 (鉄鋼、アルミ)、鉱業 (石油)、農業 (小麦等)
日本から輸出 億円	366 (2010年) (一般機械、電気機器、鉄鋼)
日本の輸入 億円	349 (2010年) (製材24.8%、衣類・同付属品、建築用木工品等)
土地利用 万ha	耕地 915 (39.8%) (2009年現在)
	森林 654 (28.4%) (2009年現在)
	牧場・牧草地 437 (19.0%) (2009年現在)
度量衡	メートル法
祝祭日	1月1・2日新年、3月～5月復活祭 (3日間)、5月1日メーデー、6月頃聖霊降臨祭、12月1日統一記念日、12月25日・26日クリスマス 他に各地域毎の祝日等
気候	南部は温帯気候 Cfa で、大陸性の特色を持ち夏季は高温になることがあるが、冬季は寒冷である。北部は冷帯気候 Dfa。降雨は1年を通してみられ、夏季に若干多い。首都ブカレスト (標高 90m、年平均気温 10.8℃、雨量指数 86、年降水量 614mm、月降水量 31.7～84.2mm)。

(森林指標)

(森林面積)

森林面積 (2010)	千 ha	6,573
森林率	%	29.0
森林変動率 (2005-2010)	%	0.6

(森林蓄積)

森林蓄積(2010)	百万 m ³	1,390
ha 当たり森林蓄積	m ³	212

(人工林面積)

人工林面積 (2010)	千 ha	1,446
森林面積に対する割合	%	22.0

(森林所有者)

公的機関	%	80.0
民間	%	20.0

(炭素蓄積)

炭素蓄積 (2010)	百万トン	618
年平均炭素蓄積変化 (2005-2010)	千トン/年	3

(森林・林業行政組織)

ルーマニアの森林行政は農林・農村開発省 (MAPDR) の 1 部局である森林局により行われている。森林局は 9 つの森林・狩猟に係る管轄地域を有する。ルーマニアには国有林と民有林があり国有林は 75% を占める。森林局には 2 つの部があり一つは国有林の管理と森林経営者との契約により民有林の一部を管理する国有林部 (Romsilva) であり、もう一つは市町村及び教会団体の森林を管理する民有林部である。Romsilva はルーマニアで最も強力な森林部局であり、各郡に一つの事務所 (合計 41) と森林研究所を有する。

(森林・林業政策)

ルーマニアには 4.4 百万 ha の国有林と 2 百万 ha の民有林がある。民有林の森林所有者は Romsilva に対し森林の構造、植生等により異なる管理費を支払う。民有林の所有を強化し、効率性を高めることがルーマニアの施策である。民有林の所有者は地域毎に組織化され、森林レンジャーを雇用し又は Romsilva や他の民有林事務所にこの仕事を委託するよう求められる。現在までに 106 の民有林事務所が設置され、その面積は 1 百万 ha を超える。現在、違法伐採の問題が林地補償また生活水準の低い人々への生計を供与する過程で多発している。

ルーマニアの森林分野の長期的目標の一つは森林面積の拡大である。すなわち、27% の森林面積割合を 27% から 32% へ拡大することである。また、上記に述べた違法伐採が生物多様性などに与える影響も大きくその対処も目標の一つである。国家森林プログラムに述べられている目標によれば、森林面積の拡大は次のことに対し貢献することとされている。

- ・生物多様性保全
- ・木材需要
- ・自然災害 (洪水、乾燥、土壌侵食) 減少
- ・地球温暖化ガス排出の削減

なお、森林は保安林 (森林全体の 38% で、水源かん養保安林、土壌保全保安林、気候安定保安林、生物多様性保全林、生物多様性保全保安林に分かれている。) 及び、生産林 (全体の 62%) に分かれている。

(森林の経営)

国有林、民有林とも若齢林の育成管理に重点をおいている。造林事業の必要な面積は年間 15 万 ha である。森林管理計画は森林地域及び生産ユニット毎に策定され、この計画に基づき森林調査が国レベルと地域レベルで実施される。森林管理計画は 10 年ごとに策定される。

森林の更新は主要な活動の一つであり、健全な森林の維持に細心の注意を払っている。最大伐採量は国の決定により設定されるが、そのレベルは年間成長量（年間 1 4 百万 m³）を超えていない（なお、2005 年の木材伐採量は成長量を超えている）。

(森林の現況)

FRA2010 によれば 2010 年における森林面積は 657 万 ha であり、森林割合は 29% となっている。人工林の面積は 145 万 ha であり、森林面積の 22% が人工林となっている。森林面積の内訳は

針葉樹 31%、ブナ 32%、ナラ 20%、その他広葉樹及び針葉樹 17%

となっている。森林の平均蓄積は 217m³/ha として平均年成長量は 5.6m³/ha となっている。

ルーマニアにおける樹種構成は、広葉樹が 69%、針葉樹が 31% という割合となっている。広葉樹の中では、ブナ類が 31%、ナラ類が 18% を占め、他はトリネコ類、クマシデ類、ハコヤナギ類、ハリエンジュ類、シナノキ類が 20% を占める。針葉樹の中では、トウヒ類が 23%、モミ類が 5%、そしてその他はマツ類、カラマツ類が合わせて 3% を占める。

ルーマニアの森林植生は山地地形、気候、岩石、水文、土壌因子により決定されており、森林は平地からカルパチア山脈まで広く分布し、森林限界は標高 1,650～1,800m の範囲にある。標高別に森林植生をみると、最上部にはトウヒ亜帯があり、東部カルパチア山脈では標高 500～1,700m に、南部カルパチア山脈では主に標高 1,300～1,600m に分布する。ブナ亜帯はブナ純林 (*Fagus sylvatica*, *F. orientalis*) あるいはヨーロッパモミ (*Abies alba*) との混交林として存在し、下限はゴルンオーク (*Quercus sessiliflora*) と他の広葉樹及び針葉樹との混交林を構成し、カルパチア丘陵、特にトランシルバニア高原やモルダビア高原に分布する。このゴルンオーク亜帯にはセシールオーク (*Quercus petraea*)、トランシルバニアオーク (*Q. polycarpa*)、

ダルマチアンオーク (*Q. delachampii*) が分布する。オーク亜帯は平原、低い丘陵地帯、河川敷の低地帯にあり、コモンオーク (*Q. robur*) の純林あるいは他の広葉樹との混交林として存在する。トルコオーク (*Q. frainetto*) が純林あるいは他のオークや広葉樹との混交林として、オステニア南部及びルーマニア平原の低い丘陵地や平原に存在する。

ルーマニアの森林は上記のようなタイプに分類されているが、さらに構成樹種によって以下のように区分される。

1. ナラ類 *Quercus pubescens*、*Q. frainetto*、*Q. cerris* の平地・乾燥地帯の森林
2. ナラ類 *Quercus pedunculata*、*Q. pedunculiflora* の平地、湿潤地帯の森林
3. ハコヤナギ、ヤナギ類のドナウデルタ及び河畔の森林
4. ナラ類、クマシデ類、トリネコ類、シナノキ類、ハリエンジュ類の混交林
5. ナラ類の一種 *Quercus petraea* の丘陵林
6. ヨーロッパブナ *Fagus sylvatica* の山岳林
7. ヨーロッパブナと針葉樹の混交林
8. ドイツトウヒ *Picea abies* の山岳林
9. モミ類、ヨーロッパクロマツ *Pinus nigra*、ヨーロッパアカマツ *P. sylvestris* の山岳林

(林産業)

産業省に置かれている木材利用公社 (Autonomous Administration of Wood) が木材生産や木材産業を管轄している。公社には 3 つの地方局があり、さらにその下部組織として企業体が置かれている。

木材生産と木材産業に携わっている企業体は 138 あり、そのうち 8 が完全な私企業である。(木材伐採のうち ROMSILVA が行っている量は、全体の 20% であり、その大部分は間伐材である。)

ルーマニアでは原木の輸出は禁止しており、板材、家具等の加工品として輸出している。その輸出額は約 2 億ドルであり、これは当国の輸出総額の 4% 相当に当たる。

2005 年の木材生産量は 1,400 万 m^3 で、そのうち 1,100 万 m^3 は民間の木材業界に供給され、残りが個人用となっている。伐採搬出は素材生産業者により行われているが、その数は 3,200 程度である。林道は 42,000km で、林道密度は 6.4m/ha である。

この低さが国有林の生産活動の障害となっている。2百万 ha 以上の森林が林道のない奥地に存在する。

木材貿易は国の輸出額の9%以上を占める。

原木生産量の推移と木材貿易量は以下の表のとおりである。

原木生産量の推移

単位：千 m³

年次	薪炭用	用 材				原木生産量 合計
		製材用、 単板用	パルプ用	その他	合計	
1985	3,891	7,788	4,998	6,323	19,109	23,000
1990	1,882	5,164	2,497	3,065	10,726	12,608
1995	2,163	4,274	1,934	3,807	10,015	12,178
2000	3,032	6,146	1,652	2,318	10,116	13,148
2006	4,516	6,387	822	2,245	9,454	13,970
2010	2,464	8,213	1,809	626	10,648	13,112

注：その他は杭、マッチ、ポスト、柵 など

木材貿易量（2010）

単位：数量万 m³、金額万ドル

製 品 名	輸 入		輸 出	
	数 量	金 額	数 量	金 額
丸 太	61.0	4,404.1	42.9	4,064.4
製 材	4.3	2,183.7	289.6	69,851.2
合 板	3.0	1,361.5	1.5	1,606.1

- 出典 : 1. FERN & WWF, 2008, “The case of Romania, Funding forests into the future?”
2. Stoicescu, M., “Forest Management and Forestry Methods in Romania”
3. Mongabay, 2013, TROPICAL RAINFORESTS: Romania
Forest Information and Data
(<http://rainforests.mongabay.com/deforestation/2000/Romania.htm>)

— 531 — — 532 — — 533 — — 534 — — 535 — — 536 — — 537 — — 538 — — 539 —
— 540 — — 541 — — 542 — — 543 — — 544 — — 545 — — 546 — — 547 — — 548 —
— 549 — — 550 — — 551 — — 552 — — 553 — — 554 — — 555 — — 556 — — 557 —
— 558 — — 559 — — 560 — — 561 — — 562 — — 563 — — 564 — — 565 — — 566 —
— 567 — — 568 — — 569 — — 570 — — 571 — — 572 — — 573 — — 574 — — 575 —
— 576 — — 577 — — 578 — — 579 — — 580 — — 581 — — 582 — — 583 — — 584 —
— 585 — — 586 — — 587 — — 588 — — 589 — — 590 — — 591 — — 592 — — 593 —
— 594 — — 595 — — 596 — — 597 — — 598 —